

経営として取り組む重要課題

住友化学は、企業理念に基づき、経営として取り組む重要課題を2019年に特定しました。

その後、国際的な気候変動対応の進捗や社会格差問題の再認識など社会状況の変化を踏まえ、

改めて課題の見直しを行いました。今後も、当社にとって重要な課題が何かを常に見極め、分かりやすく訴求してまいります。

重要課題の特定プロセス

1 サステナビリティへの貢献を俯瞰的に検証

①「事業における重要性」と「社会における重要性」の二次元で課題を整理するところからスタート

- 経済価値と社会価値を継続的に創出するための重要課題を抽出
- 技術、デジタル、人などのリソースを活かす視点を考慮
- 労働安全衛生やコンプライアンスなどの諸取り組みとの関係性を整理

参考にした主な国際ガイドライン
やイニシアティブ

- ・ 外部意見 (WBCSDなど)
- ・ ISO26000
- ・ SDGs
- ・ Global Compact 10原則
- ・ GRIスタンダード
- ・ 外部評価 (FTSE, EcoVadisなど)

②ステークホルダーからの要請の把握

- イニシアティブへの参画を通じて得た国際社会の動向や外部評価の結果を考慮

③有識者との対話

- 経営として取り組む重要課題の考え方について、有識者から意見・提言を聴取

サステナビリティ推進委員会で審議

2 重要課題案を整理

- 経済価値と社会価値をともに継続的に創出するため、経営として取り組む重要課題を選定
- 選定した重要課題案のうち、事業機会創出につながる課題を「社会価値創出に関する重要課題」、事業機会創出の原動力となるリソースを「将来の価値創造に向けた重要課題」と位置付け
- 労働安全衛生やコンプライアンスなどは、事業継続のために必要不可欠な基盤として位置付け

サステナビリティ推進委員会で審議

3 経営層による審議・承認

数次にわたる経営会議での審議を経て、2019年2月の取締役会にて承認

- 2019年4月スタートの中期経営計画への落とし込みを実施

重要課題の点検

事業環境の変化や当社の方向性を踏まえた見直しを適宜実施
(2022年2月に実施)

経営として取り組む重要課題とKPI

持続的な価値創出のための重要課題

社会価値創出に関する重要課題	KPI
 環境分野への貢献 ・気候変動の緩和と適応 → P.41 ・資源循環への貢献 → P.45 ・自然資本の持続可能な利用 → P.47	・グループのGHG排出量 (Scope1+2) ・製品ライフサイクルを通じたGHG排出削減貢献量 (電池関連) ・Sumika Sustainable Solutions 認定製品の売上収益 ・エネルギー消費原単位指数 ・石化関連環境負荷低減技術のライセンス数 ・製造プロセスに使用したプラスチック再生資源の量
 食糧分野への貢献 → P.48 ・持続可能な農業の推進	・鶏などの動物性たんぱく源の増産効果 ・アグロソリューション資材が使用された農地面積
 ヘルスケア分野への貢献 → P.49	・熱帯感染症対策資材により守られた人数 ・アンメット・メディカル・ニーズの高い領域での継続的な医薬品の創出
 ICT関連分野への貢献 → P.50	・偏光フィルムを使用したモバイル端末数

将来の価値創造に向けた重要課題	KPI
 イノベーションの推進 → P.51	特許資産規模
 DXによる競争力強化 → P.53	デジタル成熟度
 人材:DE&I※、育成・成長、健康 → P.55 <small>※ダイバーシティ、エクイティ & インクルージョン</small>	グループ各社において、それぞれの環境に応じたKPIを設定

事業継続のための基盤

- 労働安全衛生・保安防災 → P.57
- 製品安全・品質保証 → P.58
- 人権尊重 → P.59
- サイバーセキュリティ → P.60
- コンプライアンス → P.61
- 腐敗防止 → P.62